

## 調べたことの中からえらんで書こう(3年) かんさつしたことを インタビューをしよう

### 指導目標

観察したことやインタビューなどをして調べたことがわかりやすく伝わるように、必要な事柄を選んだり、段落相互の関係を考えたりして、記録文を書く。

観察したことや調べたことなどが、わかりやすく伝わるように記録文を書く。(書く)

インタビューの仕方を理解し、話し方に気をつけながらインタビューをして、聞き取りメモを書く。(話す・聞く)

### 教材について

本教材の書くことの学習「かんさつしたことを」は、2年生の学習『見つけたことを書こう』を受け、4年生の『調べたことを整理して書こう』へとつながっていく情報活用作文の系列である。2年では、「必要な事柄を集め」、3年では、「必要な事柄を選び」、4年では、「必要な事柄を整理し」となっていて、「書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること」や「書こうとする事柄の中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと」を身につけさせる教材である。話す・聞くの学習「インタビューしよう」は、「かんさつしたことを」の自然博物館の佐々木さんへのインタビューに関連させ、前段階の準備や配慮、話し方、聞き取りメモなど実際にインタビューをするときに生かせる教材である。この二つは、書く教材と、これから総合的な学習の時間などにおいて必要とされるであろうインタビュー活動を効果的にし、活性化させる教材を組み込んだ単元である。

そこで、本実践では、以下のことに留意し、指導にあたることとする。

#### (1) ふだんの生活の中から題材を見つける

身のまわりの生き物に関心をもっているこの時期の子供たちは、これまでさまざまな動植物に接してきていると考えられるが、題材を選ぶときには、カードを用いて、ふだんから昆虫を観察するなかで気づいた一つのできごとを、出発点としてとらえて書いている点に注目させ、参考にさせたい。また、疑問をもつ瞬間はそれぞれ異なっているものなので、新しい気づきや発見を、日ごろから見逃さないように心がけたい。

#### (2) まとめ方の工夫を

題材が決まって作文にまとめるときには、書きたいことを中心をはっきりさせ、詳しく書くことや正確に書くこと、事柄やできごとのまとまりを考えて書くことなどの観点を意識することは必要であるが、まとめ方については多様性を認めていきたい。ただ単に作文を書き上げるのではなく、「虫の育ち方図かん」「虫のせい長紙しばい」のように、自分なりにまとめ方を考えさせたい。集めた情報を活用し、自分の書きたいことが効果的に表されるようなまとめ方の工夫を促したい。

#### (3) 事前の準備と相手への配慮に焦点を当てる

インタビューをするときには、事前の準備を大事に指導したい。また、インタビューを受けてくださるかたへの配慮を忘れないようにすることも大事なポイントであるので、一方的な立場からだけでなく、練習などで両方の立場を体験することにより、理解を深めさせたい。

### 学習指導計画（全12時間）

展開・時	過程	学習活動	留意点，評価規準及び方法
次 —	第1時	<p>「学習のとびら」を読み，学習のねらいを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名や教材名，また小見出し「インタビューしよう」等を読んで，学習内容を見通す。</li> <li>・題名や文章から，自分の好きな虫や飼っている虫を思いうかべ，発表し合う。</li> <li>・「白い糸のひみつ」や観察カードを読む。</li> <li>・新出漢字や難語句調べをする。</li> <li>・学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>これまでの経験や理科の学習から各自の課題をもたせる。</p> <p><b>関：</b>学習に興味をもち，観察したことや調べたことを思いうかべようとしている。 (発表・態度)</p>
	第2時 (本時)	<p>カードや作文例を参考にして，調べたことや様子・気持ちを思い出して書くことの大切さを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山野さんの作文の優れているところをノートに書き出し，その理由も考える。</li> <li>・書き出したことを発表し合う。</li> </ul> <p>山野さんの作文と側注を参考にしながら，作文の組み立てをつかむ。</p>	<p>書き出しの工夫，観察の様子を詳しく書いている点，聞いたり話したりしたことを書いている点，そのときの気持ちを入れて書いている点などをノートに書き出させる。</p> <p><b>書：</b>作文例の優れているところを書き出している。 (ノート)</p> <p><b>書：</b>作文の組み立てをおさえている。(発表・ノート)</p>
	第3 ・4時	<p>「かんさつカード」から題材を見つけ，さまざまな方法で調べながら，書くことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんさつカード」などから，作文に書くことを見つける。</li> <li>・不思議に思ったこと，もっと知りたいことを課題として，本やインターネットで調べたり人に尋ねたりしながら，追求していく。</li> <li>・調べた事柄をまとまりを考えながら，整理する。</li> </ul>	<p>第1時の学習を思い出させながら，題材を選ばせる。</p> <p>調べる方法として，山野さんの例を参考にさせ，インタビューの仕方についてもふれ，図書室や電話，インターネットでの調べ方も紹介する。</p> <p><b>関：</b>調べる方法を知り，それを活用しながら，課題を追求しようとしている。(態度)</p> <p><b>書：</b>自分の書く事柄を集めている。(カード・ノート)</p>

次	第5時	<p><b>実践 （組み立ての構想）</b></p>	<p>書くために必要な事柄を選び，まとまりや順序を考えて作文の組み立てを構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察したことや調べたことを，できごとの順に並べ，書くことを整理する。</li> <li>・題や書き出しについて考え，ノートに書く。</li> </ul>	<p>日時や場面，事柄の違いなどからまとまりを考えてメモやカードを整理させる。</p> <p>観察したことや調べたことの中から，必要なことを選び，中心をはっきりさせていく。</p> <p>それぞれのまとまりが段落構成につながっていることを意識させる。</p> <p>何を伝えたいのかははっきりさせて題を書かせる。</p> <p>読み手の興味を引き出すような書き出しを工夫させる。</p> <p><b>書</b>：自分の書くことを整理している。（ノート）</p>
	第6 ・7時	<p><b>実践 （清書と推敲）</b></p>	<p>観察カードや調べたことをもとに，作文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察カードや調べたこと，組み立てのメモを読み返し，自分の書こうとすることを確かめ，作文にまとめる。</li> </ul> <p>自分の書いた作文を読み返し，推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み返しをする時に気をつけることを話し合う。</li> <li>・書き直したり書き加えたりして，清書する。</li> </ul>	<p>調べた様子がよくわかるように事柄のくぎれや続きを意識させ工夫して書かせる。</p> <p>観察した事実をしっかりと入れて書くようにさせる。</p> <p>様子や気持ちを伝えるときには，会話をに入れて書くことも効果的であることを思い出させる。</p> <p>句読点を適切に打つ，段落の始めや会話の部分などは改行して書くことなどに気をつけさせる。</p> <p>文章の常体と敬体について読んだ時の印象の違いにもふれる。</p> <p><b>書</b>：文章の組み立てに気をつけながら書いている。</p> <p style="text-align: right;">（作文）</p> <p><b>言</b>：読み返して，言葉の使い方，句読点，改行などに気をつけて書き直している。</p> <p style="text-align: right;">（作文）</p>

次	第8時	<p><b>実践 （作品の交流）</b></p>	<p>友達の作文を読んで、気づいたこと、感じたこと、書き方のよいところなどを話し合い、それぞれの作文のよさを認め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作文の内容について概要を知る。</li> <li>・グループの中で作品を交換して読み、メモをとる。</li> <li>・感想を伝えたり、作品の書き方のよい点を話し合ったりする。</li> <li>・クラスみんなに紹介したい作文やグループ以外で読んでみたい作文などについて発表する。</li> </ul>	<p>自分の作文の題、伝えなかったこと、書いたあとの感想などをカードに書き込ませ、紹介し合う。</p> <p>調べる動機や伝えたいことがわかりやすくはっきりと書かれているか、時間の経過を追って様子や気持ちを表しながらまとめられているかなど、いくつかの観点をあげて読み合う。</p> <p>追求の楽しさ、発見や解決の喜びなどに共感しながら、作文のよさを認め合う。</p> <p>読：事柄のまとまりをとらえながら、友達の作文を読んでいる。(メモ)</p> <p>書：友達の作文のよさを積極的に見つけている。</p> <p style="text-align: center;">(メモ・話し合い)</p>
	第9時	<p><b>実践 （作品の鑑賞と活用）</b></p>	<p>友達の作文を鑑賞し、組み立てや記述のよいところ、工夫しているところなどを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作文を読む。</li> <li>・書かれている内容をつかむ。</li> <li>・気づいたことを作文のあとに書く。</li> <li>・感想を書く。</li> <li>・書いた感想を発表し合う。</li> <li>・調べた時にお世話になったかたに読んでもらったり、作品発表会を開くなど、作文を活用する。</li> </ul> <p>今後の作文の活用の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文から発展させて、図鑑、新聞、紙芝居、絵本などにまとめ、多くの作品を楽しく鑑賞させる。</li> </ul>	<p>単元のねらいにあった作文を選んで印刷し、鑑賞させる。</p> <p>まとまりごとに内容をおさえさせ、何を伝えなかったのかをつかませる。</p> <p>よいと思ったところに線を引かせたり、脚注のように書き込み入れさせたりしながら読ませる。</p> <p>組み立てのよさ、記述の仕方などについて気づいたことを書かせる。</p> <p>友達の作文のよいところを見つけることで自分の作文を見つめ直し、新しいよさなどを見いださせる。</p> <p>書：友達と自分の作文のそれぞれのよさを見つけている。(発表、書き込み、作文のあとの文章)</p>

二	<p>第10 (本時) ・11時</p>	<p>課題をつかむ・イメージをもつ</p>	<p>『インタビューしよう』を読んで、インタビューの仕方を理解し、準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べていることについて話し合い、インタビューの必要な場合を考える。</li> <li>・インタビューをする計画のあるグループからその計画を聞き、インタビューをするときに必要なことについて話し合う。</li> <li>・『インタビューをしよう』を読んで、インタビューの仕方について確かめる。</li> </ul> <p>「話し方に気をつけて」を参考にして、インタビューの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにテーマを決めてインタビューの練習をする。</li> <li>・地域のかたにインタビューをするときの準備をする。</li> </ul>	<p>わからないことや知りたいことがあったときに、人に直接会って尋ねるのがインタビューであることをおさえる。</p> <p>インタビューをする前の準備として必要なことをおさえる。</p> <p>練習で両方の立場を体験させる。</p> <p>わからないことやもっと知りたいことがある場合は、重ねて質問するように促す。</p> <p><b>話聞</b>：インタビューの仕方を理解している。 (発表・話し合い・ノート)</p> <p><b>関</b>：意欲的にインタビューの練習に取り組もうとしている。(態度)</p> <p><b>書</b>：メモに質問したいことを書いている。(ノート)</p>
	<p>第12時</p>	<p>実践・振り返り</p>	<p>話し方に気をつけながらインタビューをして、聞き取りメモを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『インタビューをしよう』を読んで、インタビュー前に必要なことをチェックし、インタビューの準備をする。</li> <li>・インタビューをする。</li> </ul> <p>聞き取りメモをもとにインタビューを振り返り学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューしてわかったことをまとめる。</li> <li>・インタビューについて振り返る。</li> </ul>	<p>グループ内で、役割の確認や準備するものを確かめさせる。</p> <p>相手のことを考えながら、分担した役割を果たすようにさせる。</p> <p>「聞き取りメモ」をもとにわかったことを事実と感想に分けてまとめる。</p> <p>調べたいことが調べられたかどうかを確かめる。</p> <p>相手のことを考えてできたか、振り返る。</p> <p><b>話聞</b>：大事なことを落とさないように、メモをとりながらインタビューしている。 (発表・態度・ノート)</p> <p><b>書</b>：「聞き取りメモ」をもとに、わかったことをまとめている。(ノート)</p>

次

## 本時の展開 (本時 2 / 1 2)

### 目 標

- ・ 山野さんの作文「白い糸のひみつ」を読んで、調べたいことや様子・気持ちを思い出して書くことの大切さを理解するため、優れているところをノートに書き出すことができる。
- ・ 山野さんの作文「白い糸のひみつ」と側注を参考にしながら、作文の組み立てについてノートにまとめることができる。

### 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
1 本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     観察したことや調べたことが、わかりやすく伝わるような記録文の書き方を見つけよう。                 </div>		
2 山野さんの作文の優れているところを見つける。 山野さんの作文「白い糸のひみつ」を音読する。 形式段落に番号をつける。 作文の優れているところをノートに箇条書きで書き出す。	書き出しの工夫，観察の様子を詳しく書いている点，いろいろと調べていく様子を正確に書いている点，聞いたり話したりしたことを書いている点，そのときの気持ちを入れて書いている点などをノートに書き出させる。	書：作文例の優れているところを書き出している。(ノート) どんな点について見ればよいのかの例を示しながら，できるだけたくさん見つけるように助言する。
3 見つけたところを発表し合う。	よいと思った理由についてはその子供なりの理由があればよいこととする。	話聞：見つけたところを，友達の意見も聞きながら発言している。(発表・態度)
4 山野さんの作文と側注を参考にしながら，作文の組み立てをつかむ。 形式段落と側注を対応させる。 事柄のまとめりごとにどのような書き方をしているのか確かめる。 全体を見てどのような組み立てになっているのか確認する。 伝えたい中心を見つける。	側注と対応させて作文例を読むようにさせる。 横書きの文の書き方についてもふれ，確かめさせる。 それぞれのまとめりが段落構成にもつながっていることを意識させたい。 時間の経過とともに，できごとの順に書かれていることを確認させる。	それぞれのまとめりごとに確かめていくように助言する。 形式段落ごとにおさえることで，まとめりがはっきり見えるように助言する。 書：作文例の組み立てをおさえている。 (発表・ノート)
5 本時の学習をまとめる。	確認のため文を音読させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     わかりやすい記録文を書くには，書き出しの工夫，観察の様子を詳しく書く，聞いたり話したりしたことを書く，そのときの気持ちを入れて書く，全体の組み立てを考えることが大切だ。                 </div>		
6 次時の学習を確認する。	今日の学習を生かして，次時は実際に書き始めることを確認する。	実際の文例にある具体的な言葉と照らし合わせて，次時からの自分の作文に生かせるまとめりとなるように助言する。

## 本時の展開 (本時10 / 12)

### 目 標

- ・『インタビューをしよう』を読んで、インタビューの仕方を理解し、実際にインタビューする準備をすることができる。
- ・「話し方に気をつけて」を参考にして、インタビューの練習をすることができる。

### 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
<p><b>1 インタビューの必要な場合を考える。</b> 実際に調べていることについて話し合い、どのようなときにインタビューが必要なのかを考える。</p> <p><b>2 インタビューをするときに必要なことについて話し合う。</b> インタビューをする計画のあるグループからその計画を聞く。 インタビューをするときに必要なことは何かを話し合う。</p> <p><b>3 本時のめあてを確認する。</b></p>	<p>わからないことや知りたいことがあったときに、人に直接会って尋ねるのがインタビューであることをおさえる。</p> <p>計画がない場合には、山野さんのグループが自然博物館の佐々木さんにインタビューをするときに、どんな準備をしたのかを考えさせる。</p>	<p>インタビューをする必要感から行うものであることを助言する。</p> <p>練習として、作文例を用いることを助言する。</p> <p>目的意識と意欲がもてるように助言する。</p>
<p>インタビューの仕方を確かめて、インタビューの練習をしよう。</p>		
<p><b>4 『インタビューをしよう』を読んで、インタビューの仕方について確かめる。</b> インタビューする前の準備として必要なことは何かを見つける。 どんな話し方がよいか考える。 聞き取りメモについて知る。</p> <p><b>5 グループごとにテーマを決めてインタビューの練習をする。</b> グループを二つにわけて、「する人」「される人」の両方を体験する。</p> <p><b>6 地域のかたにインタビューをするときの準備をする。</b> 『インタビューをしよう』を読み返す。 計画の確認と必要な準備をしっかりと行う。</p>	<p>インタビューの準備として、誰に(相手)、どんな(内容)いつ(日時)、誰が(役割)を用意し、練習をしてからのぞむのが必要なことをつかませる。</p> <p>「相手」あつてのインタビューであり、話を聞く相手のことを考えて話すこと、わからないことや知りたいことがあったらさらに質問することの大切さなどについて理解させる。</p> <p>練習で、両方の立場を体験することによって、立場を理解しきちんとしたインタビューができるようにさせる。</p> <p>相手に失礼のないようにしっかりと準備をしてのぞむようにさせる。</p>	<p>教材文を参考にし、方法を確認することで、内容がはっきりすることを助言する。</p> <p><b>話聞：</b>インタビューの仕方を理解している。(発表・話し合い・ノート)</p> <p><b>関：</b>意欲的にインタビューの練習に取り組もうとしている。(態度)</p> <p>相手に対する礼儀として準備や練習が大切であることを助言する。</p>
<p><b>7 次時の学習を確認する。</b></p>	<p>今日の学習を生かして、次時には実際にインタビューすることを確認する。</p>	